



肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第24号

2018年4月号

目次

平成30年度役員一覧	1
肺がんCT検診認定機構 代表理事就任のご挨拶	2
肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶	3
肺がんCT検診認定機構 代表理事退任のご挨拶	4
肺がんCT検診認定機構 理事退任のご挨拶	5
肺がんCT検診認定機構 施設認定事業スタート	5
肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内	6
関連会議のご案内	6
編集後記	8

平成30年度役員一覧

2018年3月24日開催の総会におきまして、下記のとおり役員が選任され、それぞれ就任されました。

新役職	氏名	担当	所属施設
代表理事	村田喜代史		滋賀医科大学医学部 放射線医学講座
副代表理事	花井 耕造	技師認定委員長	(公財) 結核予防会
理事	芦澤 和人		長崎大学大学院臨床腫瘍学
理事	粟井 和夫		広島大学放射線診断科
理事	牛尾 哲敏		滋賀医科大学医学部附属病院
理事	小林 健		石川県立中央病院
理事	佐川 元保		東北医科薬科大学病院 光学診療部
理事	桜田 晃		東北大学呼吸器外科
理事	滝口 裕一		千葉大学医学部附属病院 腫瘍内科

新役職	氏名	担当	所属施設
理事	中川 徹	総務委員長	(株)日立製作所 日立事業所 日立健康管理センタ
理事	長島千恵子		国立がん研究センター中央病院
理事	中山 富雄		国立がん研究センター
理事	花岡 孝臣		JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院 呼吸器外科
理事	丸山雄一郎	施設認定委員長	JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター
理事	村松 禎久		国立がん研究センター東病院
理事	山口 功	財務副委員長	学校法人物療学園 大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科
理事	吉村 明修	財務委員長	東京医科大学 臨床腫瘍科
監事	西井 研治	医師認定委員長	岡山県健康づくり財団附属病院
監事	東村 享治		帝京大学医療技術学部診療放射線学科

肺がんCT検診認定機構 代表理事就任のご挨拶

氏 名：村田喜代史
所 属：滋賀医科大学放射線科



このたび、理事会におきまして、本機構の3代目の代表理事に選任されました村田喜代史です。

本機構は、初代の代表理事でありました長尾啓一先生の多大なるご尽力によって、日本国内における肺がんCT検診レベルの向上をめざして、2009年4月に設立されました。機構では、その目的を達成するために肺がんCT検診認定医および認定技師の制度を立ち上げ、人材育成を進めてきましたが、認定医および認定技師の数は年々着実に増加し、現在、認定医師1,346名、認定技師1,250名を数えています。さらに、2代目の代表理事になられた金子昌弘先生のもとで認定施設制度の検討が進められ、2018年4月より認定施設制度を開始することとなりました。認定医師と認定技師によって、基準を満たした認定施設によって肺がんCT検診が実施されるという制度設計がようやく日本に整備されたこととなります。

本機構ならびに認定施設を土台として、本格的に日本国内における肺がんCT検診の標準化を目指した取り組みをスタートさせる、このタイミングで3代目の代表理事を務めさせていただくこととなり、私自身、非常に身が引き締まる思いであるとともに、責任の重大さを感じております。この務めに全力で取り組みたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしく、お願いいたします。

一方、海外に目を向けますと、米国では、2011年のNLSTの報告の後、しばらくの間は大きな動きがなかったのですが、各種のガイドラインの中で、肺がんCT検診が推奨されるようになると急速に体制整備が進んできました。ACR (American College of Radiology) が認定する Lung Cancer Screening Centerが肺がんCT検診の実施主体となり、公的医療保険制度である Medicare が費用をカバーする体制が出来上がっています。またヨーロッパでも、NELSON研究の結果が

待たれてはいますが、最近肺がんCT検診の実施に前向きな報告がでています。

本機構では、このような海外の動向にも注意を払い、情報も取り入れながら、日本国内における肺がんCT検診の質的向上に取り組んでいきたいと思っています。しっかりとした精度管理が伴ってこそ、検診効果が期待できる訳ですから、まず、日本国内において実施される肺がんCT検診のほとんどが含まれるような認定施設のネットワークを作り上げたいと考えています。そして、その中で、機構や認定施設間での情報のやりとりを通して、CTの撮影や読影の体制、精度管理などが全国的に標準化され、向上する体制にしていきたいと考えています。

肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶

氏 名：芦澤 和人

所 属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学



2018年度より肺がんCT検診認定機構の理事に就任させていただくこととなりましたので、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

本機構は、CT検診学会を初めとする関連6学会のご協力のもと、2009年に設立され、CT検診認定医師・認定技師制度の確立と普及に努めてこられました。検診における精度管理の重要性はいうまでもありませんが、本認定制度は、各検診施設における精度を担保する上で多大な貢献をしてきたと思っております。

本年4月からは、いよいよ「施設認定事業」が開始される予定となっています。医師・技師のみならず施設基準を満たす施設自体を認定することで、検診の精度管理はより強固なものとなると確信しています。質の高い検診が全国で行われるように本機構の今後の活動において、微力ながら努力して行く所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

氏 名：滝口 裕一

所 属：千葉大学医学部附属病院腫瘍内科



本年度より新たに理事を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

高危険群に対する低線量CTによる肺がん検診の有効性が米国のランダム化比較試験により明らかにされてすでに8年が経過しました。その後の付加的研究などによって明らかにされたのは、対象者の選び方や検診の実施方法によって有効性が大きく左右される可能性が高いということです。十分研究が尽くされていない対象者の条件はさておき、CTの撮像条件、読影方法、有所見者の取扱、要精検者に対する精査の徹底など、精度管理を厳重にすることはもっとも重要なことの一つといえます。これをおろそかにしては本来有効な検診を行っても肺がん死亡低減に結びつかない危惧があり、本機構による認定制度の確立は急務といえます。

こうした中、本機構の理事に就任する責任を重く自覚し、日本における有効な肺がん検診推進のため理事長を初め機構の皆様を補佐して行きたいと考えております。

氏 名：長島千恵子

所 属：国立がん研究センター中央病院 放射線技術部 放射線診断技術室



今期より肺がんCT検診認定機構の理事を務めさせていただくこととなりました。今年度は、待望の施設認定制度がスタートすることとなり、機構の活動もさらに活気づいています。技師認定の委員として約9年間、機構の業務に携わらせていただいておりますが、このようなタイミングで理事に就任することとなりまして、身の引き締まる思いです。肺がん死の減少のため、肺がんCT検診のさらなる精度向上を目指し、より多くの人々が安心して肺がんCT検診を受けられる体制を確立できるよう、活動に取り組みたいと思います。また、肺がんCT検診の精度向上のため、技師認定においても、さらに多くの方々に認定を取得していただけるよう、そして多くの認定技師が更新をおこなえるような体制づくりを目指していきたいと思います。微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

氏 名：花岡 孝臣

所 属：JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院 呼吸器外科



理事就任のお話をいただき、田舎外科医にはまさに青天の霹靂、ご推挙いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。簡単に自己紹介すると、外科医として駆け出しの頃、卒業した信州大学では、曾根脩輔先生が長野プロジェクト（1996～1998）真っ只中で、その発見患者の手術を担当したことに始まります。修行の旅に出た後、16年前に当地にたまたま職を得ました。その際、曾根先生が当院院長をされており、先生が発見しつづける肺がんの切除担当となりました。定期的な症例検討会で「門前の小僧、習わぬ経を読む」式にCT画像を勉強し先生の退職後、私がCT検診読影を引き継ぎ現在に至ります。当院の結果を最近World Journal of Surgery（2018）に掲載できました。CT検診発見例の術前待機時間と術後成績をまとめたものです。名刺代わりにご参考いただければ幸いです。少しでも皆様のお役に立てるよう奮闘努力することを誓い、理事就任の挨拶とさせていただきます。

肺がんCT検診認定機構 代表理事退任のご挨拶

東京都予防医学協会

金子 昌弘

この度、内規に従い代表理事を退任することになりましたので、この場をお借りして一言ごあいさつ申し上げます。

長尾前代表理事の大変なご努力で当機構が発足し、医師および放射線技師の認定制度が確立し、全国でそれぞれ1,300名前後の方々がすでに認定されております。私の任務は「施設認定制度」の確立と考えその条件などについて議論を重ねていただき、本年4月1日から正式に発足するこ

とになりました。これも皆様方の熱意の賜物と感謝しております。

だれでも安心して肺がんのCT検診を受けられるようにするには、信頼できる施設をホームページなどで紹介する必要がある、そのためには施設認定の制度は不可欠と考えられます。一方この認定施設の信頼性を高めるには、多くの実績を残している施設が率先して認定を受けることが必要と思われます。皆様におかれましては、貴施設が基準を満たしているとお判断された場合には、ぜひ申請していただきますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご健勝を祈念するとともに、今後とも村田新代表理事のご指導の下、正しい肺がんCT検診の普及に努めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

肺がんCT検診認定機構 理事退任のご挨拶

総合東京病院
柿沼龍太郎

私がCT検診の読影を始めたのは、東京都予防医学協会の東京から肺がんをなくす会が日本において最初に肺がんCT検診を開始した1993年9月からです。2004年に新設された国立がん研究センターのがん予防・検診研究センターに異動となって以降、2015年に退職するまではCT検診の担当医として従事してきました。

長尾啓一先生が中心となられ2007年から6学会からなるCT検診認定制度合同検討会にて検討され2009年に発足した肺がんCT検診認定機構は、肺がんCT検診を取り組むうえでの認定医師および認定技師という世界に類を見ない基盤整備をおこなってきました。諸先生のご尽力にて肺がんCT検診認定機構の施設認定が開始されます。国際肺癌学会のCT検診関連の委員会は、CT検診の受診者のCT画像、読影結果、および疫学情報を登録するシステムを構築しようと準備しています。是非、肺がんCT検診認定機構の活動状況を世界に向けて発信していただきたいと思っております。ますますのご発展を祈念しております。

肺がんCT検診認定機構 施設認定事業スタート

2018年4月1日から

肺がんCT検診認定機構では、検診の手法や精度の標準化をはかり、実効性のある肺がんCT検診を広めていくことを目的として、2018年4月1日より施設認定事業を開始しました。

この機会に、施設認定の申請を、ぜひご検討ください。

施設認定の要件

- 認定申請料 2万円
- 認定料 10万円（認定期間5年）
- 各施設に肺がんCT検診認定医師（非常勤も含む）・認定技師が各1名以上在籍して

いること

- 匿名化された標準体型のCT画像の審査をクリアすること

※認定後、5年間の認定期間中にファントムを利用した画像評価を受ける必要があります。(ファントムレンタル費別途)

詳細は今後機構ホームページでご案内していく予定です。

肺がんCT検診認定機構ホームページ <http://www.ct-kensin-nintei.jp/index.html>

肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内

第20回 認定技師定期講習会、認定試験

日 時 平成30(2018)年7月28日(土)、29日(日)

会 場 滋賀医科大学(滋賀県)

申込期間 平成30年5月1日(火曜日)～5月20日(日曜日)

※5月1日の午前7時頃より受付開始予定です。

詳細HP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/workshop/index.html>

第16回 認定技師更新講習会

日 時 平成30(2018)年7月28日(土)

会 場 滋賀医科大学(滋賀県)

申込期間 平成30年5月1日(火曜日)～5月20日(日曜日)

※5月1日の午前7時頃より受付開始予定です。

詳細HP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/koushin/kousyukai/index.html>

第15回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 平成30(2018)年8月5日(日)

会 場 東京・一橋講堂

詳細HP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/workshop/index.html>

関連会議のご案内

第58回日本呼吸器学会学術講演会

開催日 2018年4月27日(金)～29日(日)

開催地 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

(〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51)

リーガロイヤルホテル(大阪)

(〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68)

会 長 平田 一人 (大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授)
テ ー マ 呼吸器病学；今日までの軌跡と確かなる未来予想図
詳細 HP <http://www.jrs.or.jp/jrs58/index.html>

第35回日本呼吸器外科学会総会

開 催 日 2018年5月17日(木)～18日(金)
開 催 地 幕張メッセ
(〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1)
会 長 吉野 一郎 (千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学(呼吸器外科))
テ ー マ アートとエビデンスに基づいたプラクティスを目指して
詳細 HP <http://www.jacs35.umin.jp/about.html>

JSCT2018 日本CT技術学会第6回学術大会

開 催 日 2018年6月30日(土)
開 催 地 名古屋市立大学 桜山(川澄)キャンパス さくら講堂
(〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)
会 長 辻岡 勝美 (藤田保健衛生大学)
詳細 HP http://www.jsct-tech.org/index.php?page=meeting_index

日本CT検診学会 2018年夏期セミナー

開 催 日 2018年7月22日(日)
開 催 地 一橋大学 一橋講堂
(〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2階)
アクセス 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅(A8・A9出口) 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b出口) 徒歩4分
詳細 HP <http://www.jscts.org>

第26回日本CT検診学会 学術集会

開 催 日 2019年2月8日(金)～9日(土)
開 催 地 日立シビックセンター
(〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1)
会 長 名和 健 (株式会社日立製作所 日立総合病院)
テ ー マ CT検診にかかわるすべての人々のために
詳細 HP <http://www.jscts.org>



編集後記

この4月から、金子先生の後任として肺がんCT検診認定機構の代表理事を村田が務めさせていただきますので、どうぞよろしく、お願い申し上げます。

また、メールマガジンは機構の活動を認定医師、認定技師の皆様にご覧いただく大切なパイプですので、引き続き、肺がんCT検診認定事業や関連学会の情報等を提供し、より充実したものにしていきたいと考えております。

さて、遅れていました施設認定制度の準備がようやく整って、この4月より開始することができ、平成30年という年は肺がんCT検診認定機構にとって、大きな節目となりそうです。肺がんCT検診の日本国内での幅広い標準化を進めていくためには、医師ならびに技師の認定制度とともに施設認定制度は必要不可欠であり、これによってスタートラインに立てたかなと思っています。もちろん、始めてみるといろいろな問題点も出てくるかもしれませんが、それらを一つずつ解決しながら、肺がんCT検診の標準化という大きな目標に向かって進んでいきたいと考えています。ぜひ、肺がん検診を行なっておられる多くの施設が施設認定の申請をしていただきたいと思います。

(文責：村田喜代史)

肺がんCT検診認定機構メールマガジン 第24号

2018年4月17日発行

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
株式会社クバプロ内「NPO法人肺がんCT検診認定機構事務局」

編集責任者 村田喜代史

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：ct-nintei@kuba.jp

WEBSITE：http://www.ct-kensin-nintei.jp/
